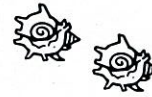
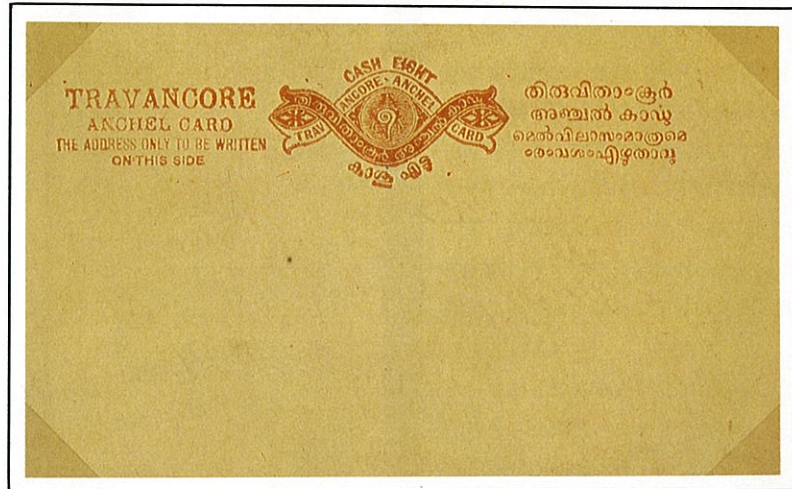


シャンクガイ

分類：新腹足目 オニコブシ科 (腹足綱)
 学名：*Xancus pyrum*
 英名：Indian chank

セイロン島からベンガル湾にかけて分布する。ヒンズー教の説話によれば、インドの聖典ベダスがシャンクに盗まれ、それを慈悲神ビシュが魚に化けて取りかえした時、常に手にしていたのがこの貝といわれる。以来インドでは「聖貝」として非常にこの貝を崇敬して、トランバンコール侯国の国章になっている。殻は重厚堅固で螺肋上に頑強な角状の棘があり、殻口にはヒダが見られる。腕輪やネックレスに加工され、スリランカ (旧セイロン) のシャンク漁業は有用な産業の一つとされている。左巻きのもは非常に稀少品のため、パゴダにこれを安置したといわれる。



コオニコブシ

分類：新腹足目 オニコブシ科 (腹足綱)
 学名：*Vasum turbinellus*
 英名：Pacific top vase

太平洋及び印度洋の亜熱帯から熱帯海域にかけての潮線下に生息する。殻は中型で8cm位、重厚堅固、殻表は殻皮に被われ、体層螺肋間に黒色の帯状の模様がある。螺塔は低く、円錐形で体層は頗る大きく、拳の如くにコブ状の突起をめぐらし、肩部のコブは最も大きく顕著である。殻口内唇には4~5条のヒダがあって蓋は角質の鈎状である。本科のものは、日本近海には少く、オニコブシ(*V. ceramicus*)と本種の2種のみである。



コオニコブシ カリビアンオニコブシ 左に同じ
V.m uricatum



コオニコブシ